

県議会とっとり 要望項目一覧

平成25年度当初分

要望項目	左 に対する 対応方針等
<p>1. 看護師養成機関新設への支援と既存施設の環境整備</p> <p>昨今鳥取市と倉吉市で看護師養成機関の誘致へ向けた取り組みがなされているが、少子化が進む中で、高校卒業生も減少し、また人口減少に伴い入院患者数も現在がピークで今後は減っていくとのデータもあります。両市で仮に誘致が成功したとしても共倒れしていく可能性もあり、県がそれを防ぐために両市を調整していく必要があると考えます。</p> <p>中部では実習の受け入れ先が不足しており、倉吉総合看護専門学校でも鳥取市まで実習に出かけている状況であることを考えれば、実習先の受け入れの余地のある東部圏とりわけ誘致をめざす鳥取市の看護師等養成所の新設を選択して支援され、既存の倉吉総合看護専門学校は保育専門学院が廃止されましたので、その校舎内の面積も広がり、教育内容・各施設規模の拡充も検討されるとともに、鳥取看護専門学校も併せて、それらの教育環境の整備の充実に努めていただきたいと思います。</p>	<p>医療の高度化、人口の高齢化、医療安全に対する県民のニーズ、看護職員の労働環境の改善等を考えると看護師は今後も不足が続くことが予想される。</p> <p>東部、中部での新たな看護師養成機関の設置への動きを実現するため、「看護師養成の抜本的拡充に向けての検討会」を開催した（第1回 平成24年11月6日、第2回 平成25年1月8日）。今後、検討会においてそれぞれの計画を伺い、課題を把握するとともに、看護師養成所のニーズ調査も実施する予定であり、引き続き、検討会で両者の支援策を協議していく。</p> <p>また、既存の看護学校の教育環境の整備も重要であり、引き続き様々な形で充実を図っていききたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師養成の抜本的拡充に向けての検討事業 1,650千円 ・鳥取県地域医療再生基金事業（看護教育教材整備事業） 18,000千円
<p>2. 林業・木工事産業の支援継続</p> <p>県産材の利用促進に効果を上げてきた間伐材搬出促進事業を継続し、その推進をさらに実を上げるためにも高性能林業機械や搬出運搬機械を導入しやすくするため、機械購入やリースへの支援拡充を求めます。</p> <p>また、環境にやさしい木の住まい助成事業も引き続き予算化され、木工事関連の認定訓練校も訓練生が少ないながらも県産材使用に貢献でき、技術の伝承の重要性から補助を継続していただき、地場の林業と木工事の安定的な仕事と雇用の確保につながるようお願いいたします。</p>	<p>間伐材の搬出支援については、森林組合、素材生産業者等を対象に行った実態調査では低コスト化が図られる一方で、材価の下落等が大きく影響しており、間伐材搬出促進事業により引き続き支援が必要な状況にあると考えている。県としては当初予算において、補助単価を見直した上で引き続き支援を行うよう検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材搬出促進事業 588,000千円 <p>林業機械の導入支援については、従来から行っている高性能林業機械に加え、間伐箇所が奥地化するなど今まで以上に搬出運搬機械の効率化が必要となってきた状況から、機械支援の対象にトラックを追加することを当初予算において検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低コスト林業の推進（鳥取県林業再生事業(低コスト林業機械支援)） 145,154千円 <p>環境にやさしい木の住まい助成事業については、当初予算において事業の継続を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい木の住まい助成事業 284,981千円

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
	<p>本県の認定訓練校は、事業主団体が雇用する在職者の技能向上のために運営しているものであり、その重要性から引き続き支援することとしている。</p> <p>・技能振興事業 51,734千円</p>
3. 民間の小水力発電事業の支援	
<p>JAで作られた小水力発電施設は年々老朽化し、稼働率も低下しています。特に公共性の高い発電所については、企業局とも連携して発電施設の改修等への補助や移管を希望する際には調整を行い、安定した経営ができるよう支援していただきたい。</p>	<p>固定価格買取制度を活用するため、JA等が小水力発電所の発電機を更新するための調査経費については、その一部を支援する制度をすでに創設しているので活用いただきたい。</p> <p>・エネルギーシフト加速化事業（再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援）6,000千円</p>
4. とりぎん文化会館の施設整備	
<p>とりぎん文化会館のトイレは和式の便器が大半であり、障がい者や高齢者にとって非常に不便であります。また、大きなイベントがあった場合に駐車場が満車になり県庁等に駐車される機会が度々ありました。洋式便器や駐車スペースの増設などを検討いただきますようお願いいたします。</p>	<p>鳥取県立県民文化会館のトイレなどのバリアフリー化については、平成24年度中に施設の現状を点検し、改善が必要な箇所のリストアップを行った上で、施設の営繕計画に組み込んで可能な箇所から順次、改修していきたい。</p> <p>県民文化会館の駐車場については、バス専用の駐車スペースに区画線を引き直すことで普通乗用車の駐車スペースを増やすなどの工夫を行ってきたが、安全面の観点から同敷地内でのこれ以上の駐車スペースの増設は困難と考える。</p> <p>また、駐車場の立体化については、過去に検討したところであるが、比較的簡易な鉄骨造の立体駐車場でも多額の費用が必要となることから建設を断念し、県庁駐車場ほかの周辺駐車場を施設利用者の駐車スペースとしてご利用いただくこととしている。</p>